



にしよどリンク

西淀川区社会福祉協議会

地域支援担当：西川

令和2年2月3日

資料3

NPO・団体・企業・事業所の交流・協働を生み出す取組



西淀川区の概況

	西淀川区 (24区での順位)	大阪市全体 (24区)
人口総数	95,490人 (14位)	2691185人
世帯数	42,924世帯 (18位)	1,352,413世帯

地域数	14地域
町会加入率	約72%
区内の事業所数	4,482数



大阪市の北西部に位置し、三方面を大阪湾と淀川、神崎川などの川に囲まれており、北側は兵庫県尼崎市に接している。

- モノづくりの工場が多い（近年はその廃業が続き、跡地には新興住宅やマンション建設が続いている）
- 鉄道、幹線道路などが充実している（京阪神沿線へのアクセスも良かったため子育て世帯も増加している）
- 市民による活動が活発である（子育て支援団体等、町の課題を解決しようとする団体が多い）

西淀川区の産業の現状

産 業	事業所数
製造業	1,108
卸業、小売業	943
宿泊業、飲食サービス業	444
建設業	345
医療、福祉	334
不動産業、物品賃貸業	325
生活関連サービス業、娯楽業	268
運輸業、郵便業	242
サービス業（他に分類されないもの）	236
その他	237
合計	4,482

事業所数は、製造業が多く、大阪市全体と比べると、特に製造業の割合が高い。

大阪市24区中3位。主な基盤産業ではあるが、近年、事業所数は卸売業、小売業、製造業が減少し、医療・福祉が特に増加している。

<参考文献>
大阪市西淀川区地域分析報告書

にしよどリンクって？

区内外の企業やNPO、介護保険事業所など多職種が集まり、日ごろの業務や社会貢献の情報交換をとおして、企業と福祉が**つながる場**として2か月に1回開催しています。

地域とつながりたい！

一緒に何かしたいねん！

ワイワイ楽しく西淀川区について**語り合う場**！

ここでの**垣根を超えた交流**、顔と顔の見える関係（つながり）によって様々な**コラボ企画**が誕生しています。

西淀川区社会福祉協議会では

平成26年4月1日

区ボランティア・市民活動センターがオープン

地域の様々な課題を
多様な仲間で解決す
るには？

今までのつながりの
なかった団体との新
たな出会いを考える

企業や事業所も何か
したいと考えている
のでは？



異業種交流会の開催

新たな担い手
の参画

異業種交流会の開催までの流れ

- 社会貢献活動のアンケート
- 異業種交流会のちらし



区内の100か所の企業・事業所に送付
(電話帳からランダムに選ぶ)



平成26年9月18日 第1回 異業種交流会の開催
9団体の参加

【(株) 1、(有) 1、NPO・団体 3、事業所 3、区役所】

反省点

- 1年に一度の開催では、出会うだけで終わってしまった。
- 開催することで満足してしまった。
- 交流会で出会った参加団体間でのつながりができたが、社協は知らなかった
- ボランティア担当だけの事業ではない



- 地域支援担当全体で取り組む
- 交流会で出会った後、多様な仲間とネットワークの構築を考える
- 1年に1回の開催ではなく、定例化の開催を考える

第2回異業種交流会の開催

社会貢献活動のアンケート
異業種交流会のちらし



区内の100か所の企業、
事業所に送付（電話帳から
ランダムに選ぶ）

異業種交流会のちらし



- 事業所関係に送付
- 区内の関係機関に設置
- HPに掲載
- 前回参加団体にも送付

平成27年9月2日 第2回 異業種交流会の開催
14団体の参加
【（株）7、NPO・団体3、事業所3、区役所】

定例開催に向けて

- ・ 2回目の参加団体の中から協力してもらえそうな団体に声をかけ3回目の企画を練った。
- ・ アンケートの意見から次回の内容を検討する
- ・ 案内を送付（ちらし、2回目の参加団体一覧、アンケートの結果）

参加者の声

参加している企業、団体の活動を各々詳しく聞いてみたい。

意見交換できる時間がたくさんあれば嬉しい。

具体的にそれぞれの事業の強みをきき、ネットワークを拡げたい。

社協が気を付けているポイント

- 企画運営メンバーを作る
- 次回（日程・内容等）のアナウンスをする
- 毎回、アンケートを実施し、参加団体のニーズを知る
（参加者の思いが形になる）
- 語る場の設定（グループワーク）
- コラボ事例を必ず紹介する
- 参加団体が少なくても、定例開催を持続する
- 企画運営メンバーが主体で、社協は事務局
- 福祉や社協だからにこだわらない
- 懇親会を毎回セッティングする

にしよどリンクの内容

2か月に1回の開催（午後6時～8時）

企画・運営委員のメンバーで内容を検討している

1. コラボ事例の報告
2. プレイヤーズ・タイム
3. アイスブレイク
4. グループごとワークショップ
5. 情報リレー（参加者の30秒PR）

異業種
交流会時代

	日付	テーマ	参加者数
第2回	27年9月	異業種交流会に期待すること	14団体21名
第3回	27年12月	西淀川区って〇〇〇！	24団体30名
第4回	28年2月	わが社（団体）の強みを考えよう	22団体31名
第5回	28年4月	カードトーク（6テーマ）	17団体26名

リンク

	日付	テーマ	参加者数
第1回	28年6月	企業と福祉のコラボレーション	23団体36名
第2回	28年8月	ここが惜しいかな？西淀川	23団体28名
第3回	28年10月	人とのつながる工夫どうされてますか？	23団体31名
第4回	28年12月	5つテーマから選ぶグループワーク	32団体40名
第5回	29年2月	ここだけの話…こんなことで困ってるねん	28団体36名
第6回	29年4月	リンクでしたいことを考えよう（年間活動計画）	28団体39名
第7回	29年6月	みてアートでできることを考えよう	27団体37名
第8回	29年8月	公共的な課題を題材にできることを考えよう	22団体31名
第9回	29年10月	誰もが安心して住みよい環境って？	22団体30名
第10回	29年12月	自転車×西淀川??	23団体33名

	日付	テーマ	参加者数
第11回	30年2月	にしよどリンクでつながり深めたい！！	27団体33人
第12回	30年4月	にしよど資源活用マトリクスを考えよう！	29団体46人
第13回	30年6月	MAIDOにしよど こんなんあるよ！西淀川区	67団体111人
第14回	30年10月	知ってほしい『親なきあと』のこと	33団体49人
第15回	30年12月	コミュニケーションで困る場面どうしてしまか？	36団体48人
第16回	31年2月	5つのテーマでみんなで語ろう！！	45団体56人
第17回	31年4月	学校現場の苦悩を知ろうーいじめや不登校に対してー現場にいたから言えること	39団体50人
第18回	元年6月	MAIDOにしよど みんなでコラボ“西淀川を発信しよう”	69団体119人
第19回	元年8月	児童虐待予防について「思いやアイデア」の共有	39団体48人
第20回	元年10月	「こんなこと困ってるねん！」「こんなことできるん？」	35団体46人
第21回	元年12月	「想いの届け方の工夫あれこれ」～心をつかむー手間～	38団体49人
第22回	2年2月	第1回にしよどリンク コラボ事例大賞	未定

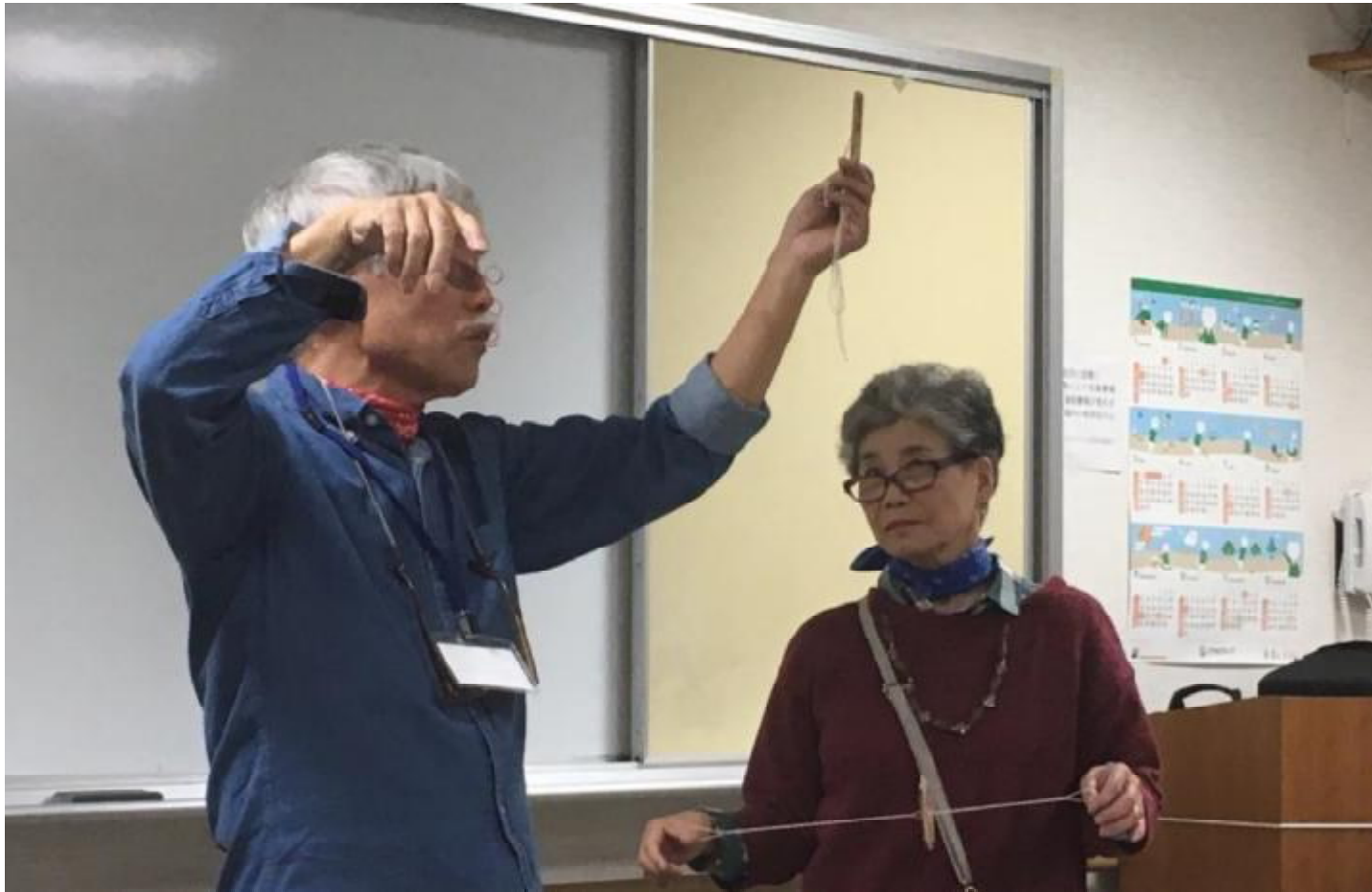
プレゼン（実演） 株式会社ReBORN 西大阪訪問看護ステーション



プレゼン（実演） 入浴サービス株式会社



プレゼン（実演） 世代間交流をめざす会



プレゼン（企業の社会貢献活動の報告）

尼崎信用金庫西淀支店



グループワーク



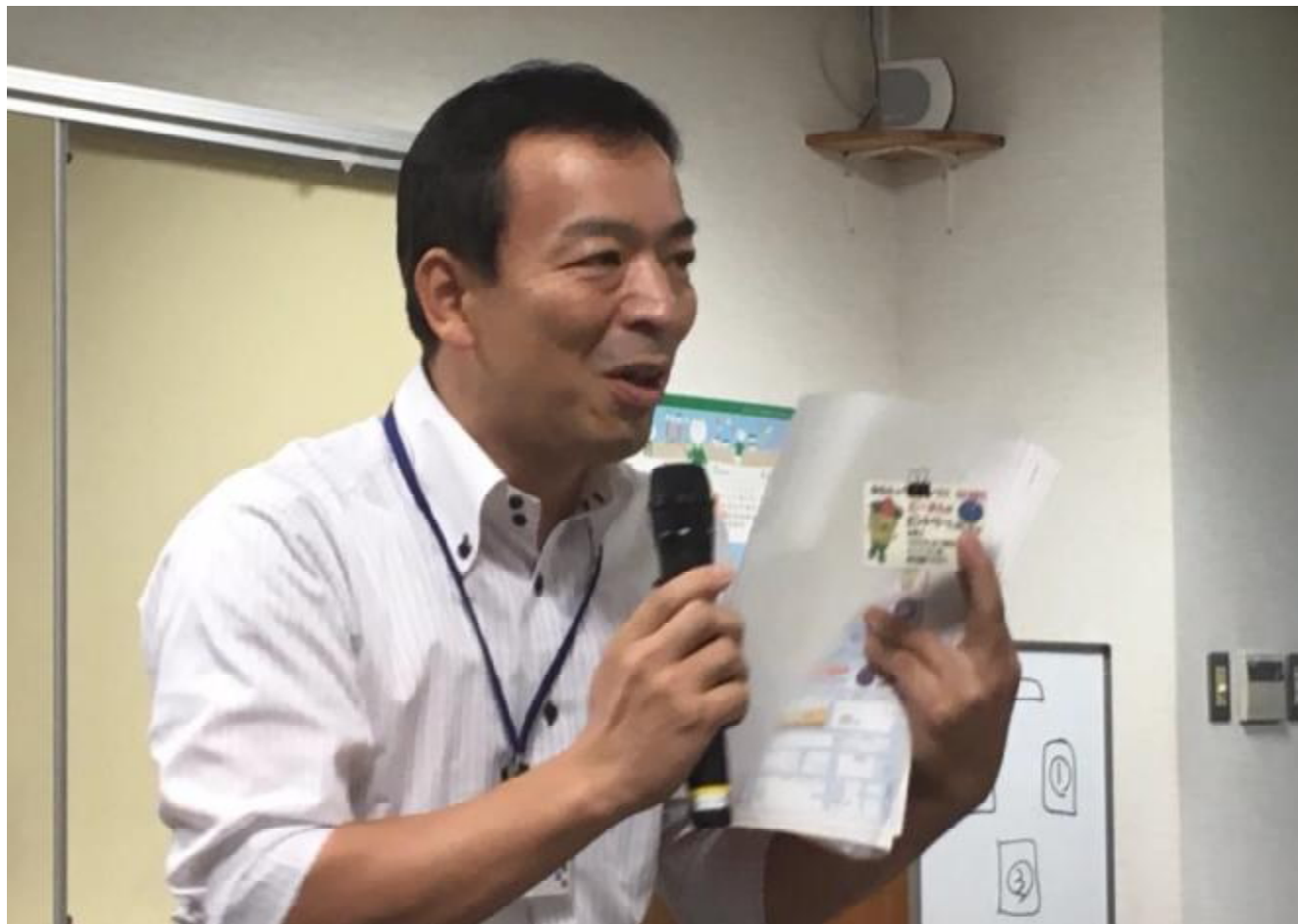
グループワーク



グループワーク



情報リレー（参加者の30秒PR）



コラボ事例



ママのための
セルフストレッチ講座
ReBORNさん



笑顔療法サポート
プログラム研修会
多田綾子さん



おやこde笑いヨガ
佐藤悦子さん



出張足湯
入浴サービスさん



お菓子の提供
西栄寺さん



冒険あそび場 見守り
尼崎信用金庫さん



おやこ防災ワークショップ
コーディネート
あおぞら財団さん

リンク番外編



リンク番外編（足湯）



リンク番外編（足スタンプ）



リンク番外編（悪徳商法の相談風景）



リンク番外編（にしよど100人会議）



リンク番外編（にしよど100人会議）



にしよどリンク拡大版

MAIDOにしよど

～出会う・知り合う・分かり合う～

MAKE

INNOVATION

DOING

つくる

革新

実行

MAIDOにしよど

2018年6月1日 午後6時30分～
西淀川区民ホール

にしよどリンクの拡大版。
今回は「企業」にスポットを当てて、「強みを活かせるつながりがほしい」「西淀川区で一緒に何かしたいねん」などなど考えている皆さまと、新たな西淀川区について語り合う企画です。

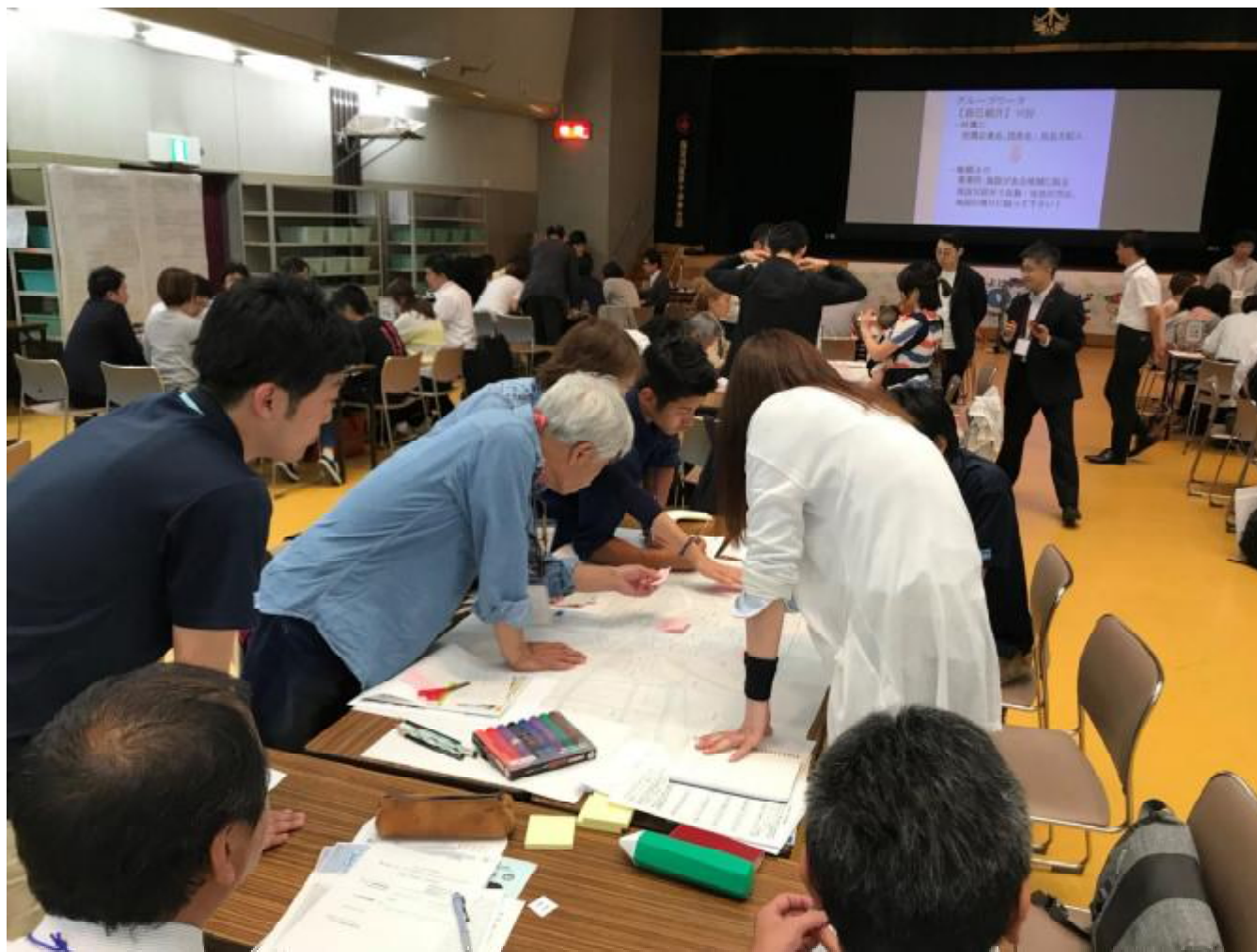
リンク拡大版（MAIDOにしよど）



リンク拡大版（MAIDOにしよど）



リンク拡大版 (MAIDOにしよど)



企画・運営委員



入浴サービス株式会社
ケアフル事業部 吉見浩一
令和2年2月3日

プラットフォームから生まれる 地域づくりについて

入浴サービス株式会社



訪問入浴介護

寝たきりなどの理由により
自宅での浴槽では入浴することが
困難な方のご自宅に、看護師
を含む3名で訪問し、特殊浴槽
を使用して安全に入浴介助を行
う介護サービスです。

介護ショップ『ケアフル』



ケアマネジャー

『にしよどリンク』参加のきっかけ

ビジネスチャンス

新しい出会い

新しい出会い

地域で活動されている人たちとの出会い

地域の事を何も知らなかった

自分の出来る事は何か？

自分たちに何が出来るか
会社としての強み

移動入浴車の活用



出張足湯の制作



事務所で実験しながら無料開放





お花見で足湯



盆踊り大会で足湯

デイサービスで足湯



中央公会堂前で足湯



注文をまちがえる足湯カフェ





地域活動を通じて得たもの

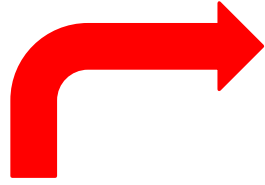
- ▶ 地域資源の発見
- ▶ 子供たちとの交流
- ▶ 様々な活動をされている方とのさらなる交流

新しい出会い、発見

お風呂の価値を高めたい

日本人からお風呂が消えていく





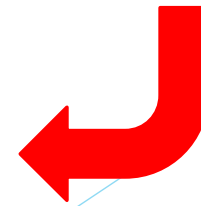
お風呂に入りたいけど
入れない人



sbdaiz - 45754710



忙しくてお風呂に
入れない人



支えられ上手、
支え上手な人が
あふれるまち「西淀川」



CONTENTS

- 2 元氣通信 西区九条北地域から地域のサポートで買い物を楽しさをもう一度！
- 3 居場所いろいろ 歌声喫茶(中央区)歌って笑って、元気になる場所、近所同士つながれる
- 4 市社協 企業と活動団体の交流を、協働のきっかけのひとつに 第2回こども支援に関わる企業交流会
- 5 住吉区 アルコール性認知症と家族の絆 第6回社協フェスティバル開催
- 6 市社協 大阪市地域福祉活動推進委員会 活動推進計画2年目の推進・評価に向けて
- 7 来年は大阪で開催 指定都市社協・民児連連絡協議会
- 8 暑中名刺広告
- 10 こんなことやります！ 私たちの施設から、社会福祉法人 清栄会「阿さひ保育園」地域のつながりを大切に！ こどもの健やかな成長を
- 12

大阪の社会福祉

2019.8
771

The social welfare
in OSAKA

社会福祉 大阪市社会福祉協議会 <http://www.osaka-sishakyo.jp>



西淀川区
「にしよどリンク拡大版」
第2回 MAIDOにしよど
「出会う・知り合う・わかり合う」

6月21日、西淀川区民ホールで「にしよどリンク」の拡大版「第2回MAIDOにしよど」が開催された。

にしよどリンクとは、区のボランティア・市民活動センターが、平成27年に発足させた異業種交流会。2カ月に1度の定例会には、「地域とつながりたい、何か一緒にしたい」と区内外の企業やNPO、任意団体などから約50人が参加し、「にしよど」の未来を熱く語っている。

拡大版は、年1回、区社協と区が協働で開催。今年は、2回目とあって顔見知りも増え、約120人が集まり、会場は熱気にあふれていた。

(2・3面に続く)

HB 若いM君は、高次脳機能障害という聞き慣れない障がいを持つ一人。年齢に関係なく、交通事故による頭蓋骨骨折や脳腫瘍、脳梗塞などで、記憶がしにくくなった。歩行が困難になる障がいだ。素直で素朴な青年だが、あまり友人がいない。上手にしゃべれないし、足を引きずって歩くので、誰にもわかる障がい者なのに、自分の障がいを人に言うことがない。カミングアウトはなんだって難しいが、言えないから友達ができないのか、心を開ける友人ができないから言えないのか。そんな彼が笑顔で打ち明けてくれた。国体の後に開かれる障がい者スポーツ大会の大阪府の予選に出ると。そして、さらに1週間後、予選でいい成績を上げたので、10月に茨城県で開かれる大会に、大阪府を代表して出場するのだと。私一人ではなく、彼の同世代の仲間をたくさん連れて、応援に行つてやりたくなった。そんな仲間の声援を受けて走つた後なら、彼は自分の障がいを含んばりに語ってくれるだろうか。自分の特性を語ることが、人間関係を作る第一歩。障がいがあるからこそ、M君には孤独であつてほしくない。

(石)

(1面より続き)

これまでの コラボ事例を紹介

第1部では、地域でのコラボ企画として、JR塚本駅前の「クリーン&ハッピープロジェクト」を紹介。

一人の町会長が始めた清掃が、地域や商店街に加え、企業・団体、高校生など100人を超える人たちに広がり、さらに「吸い殻アクト」で「まちをきれいにしよう」のメッセージを発信した。このほか、地域のイベントに、企業が出店したり、福祉施設が物品搬入・送迎で協力したり、小ささまざまなコラボが発生している。



コラボ事例の紹介

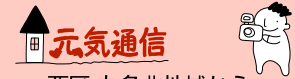


ジャンルの垣根を越え、思い思いに交流

具体的なアイデアが 続々と

続いて、対談企画として、もと歌島橋バスターミナルをメイコン会場に開催される『みてアクト』の総合ディレクター・山田龍太さんと、「ものづくりまつり」の実行委員長でワカタ製作所(板金・製缶加工業)の渡邊貴弘さんが登壇。渡邊さんは「普段、接点がないが、芸術は心がなごむ」と話し、山田さんは「ぜひ一緒に作品をつくりたい」と渡邊さんへラブコールを送った。

第2部は「西淀川で〇〇しな



西区 九条北地域から
地域のサポートで
買い物の楽しさをもう一度!

九条北地域で、7月6日に「第1回商店街買い物ツアー」が行こう!フレック!!」が開催された。

一人で安心して行くのが難しい高齢の方、4人が参加。地域の方たちをはじめ、介護事業所、西区地域包括支援センターや区社協のスタッフなどのサポートのもと取り組まれた。ツアー当日、参加者は支援者に付き添われながら、大阪メトロ九条駅にほど近いスー



楽しく会話をしながら品選び(右:斉藤コーディネーター)

周囲に迷惑をかけたこともあったと話す。今回は、そんな心配は無用だ。一人では重くて買にくい、りんごやキャベツなどを購入した参加者たちを自宅まで送ってツアーは無事終了した。このツアーは、区社協が呼びかけた地域診断「九条北地域を知ろう!!」がきっかけ。その場から、一人で買い物に行く



道中も見守られながら(右:土井会長)

ことが難しくなった方の支援が必要では?」という意見から企画された。支援者たちは2週間前にツアーの下見をするなど、入念に準備し、参加者の急な体調不良や買い物で疲れた時に休むことができるよう車いすも準備していた。

パー「フレック九条」に向かう。店内に入ると、参加者の目がきらきら輝く。いろいろな売り場を回りながら、会話をする姿はとても楽しそう。ある参加者は、以前、一人で買い物カゴをひっくり返して

九条北地域見守りコーディネーターの斉藤和美さんは、同地域でこのような活動が活発な理由を「昔から住み続けている人が多く、地域の絆が強いから」と話す。住民に身近なサポート役として、この日も一人ひとりのペースに合わせてコミュニケーションを取っていた。また、九条北女性会会長の足立敦子さんは「参加者の方たちがとにかく喜んでくれたのがうれしい!!。自分も楽しみなながら、参加者の方とたくさんお話ができたのは良かったですね」。九条北地域社協会長の土井三知男さんは「地域にはちょっとした支援があれば安心できる方が大勢いると思います。このツアーも継続し、みんなで協力しながら地域住民を支えていきたいです」と語る。地域一体となった今後の展開にますます期待が高まる。

「ちゃえ！」をテーマにグループワーク。「これやってみたい？」と自由に発言できる雰囲気のおかげ、ユニークなアイデアが発表された。約3・8kmの歩行者・自転車専用の緑陰道路を、「じゃんけん列車」でスタートし、長い列をつくりギネス認定をめざす「健活」イベント、2月4日を「にしよどの日」と決め「NY（にしよど）フェスティバル」の開催など、誰もが楽しめるような、リンクで出会った企業や団体とのコラボ企画が具体的に提案されていた。

コラボが生まれる条件とは？

充足以来、情報交換を通じて、企業と福祉のマッチング、コラボレーションを仕掛けるプラットフォーム的な役割を果たしてきた「にしよどリンク」。区社協の佐藤茂忠・事務局長は3年間を振り返り、「つながりのきっかけをつくるには、福祉にこだわらないことも大切」という。西川博子・地



「言いたくてたまらない」気持ちが伝わる1分プレゼン

域支援担当主査は、自身が担当していた中央区社協の「中央区フィランソロピー懇談会（CFK）」をモデルに西淀川区で展開した経験から「コラボはお互いの人となりわがわかつて初めて生まれるもの。最近では、自然にコラボ事例がポコポコと湧いてきている」と喜んでい

居場所いろいろ

-12-

官公庁、大企業が集まる中央区。日曜日の屋下がり、マンションが立ち並ぶ一室に、ギターとバイオリンの生伴奏にのって元気な歌声が響いた。ここは、「NPOあったかい手」が

月2回開催する「歌声喫茶」だ。「地域に貢献していきたいの思いから、もともと施設への慰問活動をしていましたが、自力で来られる元気な高齢者のための楽しみの場を作ろうと1年前から始めました」と代表理事の志岐晴美さん。地域の困りごとを支える介護サービスや障がいのある人の支援もおこなっている。スタッフの伊藤恵子さんのユーモアを交えた司会で、早口ことば、しりとりゲーム、自己紹介とプログラムは進行。自己紹介で名前と「とっておきの景色」が語られたのは、「自分のことを自分の言葉で、限られた時間内に語ることが介護予防にもつながる」との伊藤さんらの工夫。集まった



左からスタッフ(職員)の伊藤さん、代表理事の志岐さん、ギター奏者(ボランティア)の山本勇貴さん

歌声喫茶

- ・主催：NPOあったかい手
- ・日時：第2・4日曜日 14:00~16:00
- ・場所：あったかい手サロン
(中央区安堂寺町1-4-12-102)
- ・対象：どなたでも
- ・参加費：500円(ドリンク、お菓子、歌詞カード代など)
- ・問合せ：NPOあったかい手 06-6767-8103

歌って、笑って、元気になれる場所

～ご近所同士つながれる～

80代～90代の方々は、「大阪城のお堀に映る景色が好き」「生まれ育った田舎は、まわりは山また山で、空気がきれいだった」と、情景が目につくかぶ素敵な自己紹介をそれぞれが披露された。いよいよお待ちかねの歌の時間が始まった。明治の「鉄道唱歌」、大正の「浜辺の歌」、昭和の「恋の季節」など時代をまたいだ懐かしい歌を、心地よい生演奏で歌ううちに参加者の声はどんどん弾みを増し、時には手話や体操も取り入れながら、最後は「365日の紙飛行機」で実際に紙飛行機を飛ばし合う頃には、元気は最高潮に達した。



美しい音色とともに元気いっぱい歌声が響く

「ご近所同士でもしゃべったことがなかった人が、ここで声を出して一緒に楽しむことで知り合いになれる。時間が来ても皆さん、なかなかお家に帰ろうとされません」と志岐さん。法人名のとおりあったかい手で準備され、あったかい心で迎えられる歌声喫茶は、地域のかけがえのないオアシスになっている。

西淀川区

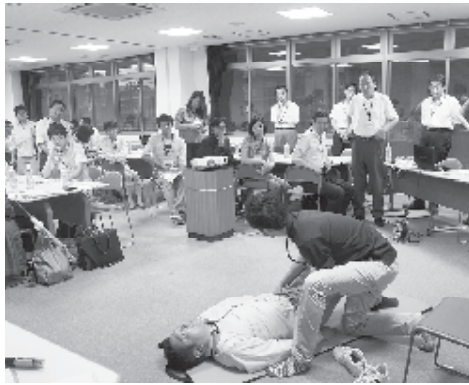
企業と福祉のマッチングをめざす

第1回「にしよどりリンク」開催

西淀川区ボランティア・市民活動センターでは、区内外の企業やNPO・介護保険事業者など他職種の方々が集まり、日頃の業務や社会貢献の情報交換をとおして、企業と福祉のマッチングをめざす異業種交流の場をつくるべく、「にしよどりリンク」を発足した。前身は、平成27年9月から5回にわたり開かれた旧異業種交流会。参加者らの発案により、西淀川区の異業種が「つながろう」という意味を込めて新たにネーミングされた。6月22日、西淀川区在宅サービスセンターにて第1回となる「にしよどりリンク」が開催され、参加者は会場いっぱい約21団体35人で、熱気にあふれるキックオフとなった。

「福祉」をテーマに集い お互いの理解を進める

にしよどりリンクの参加者は、「福祉・企業（団体）・地域から」という想いでさまざまな人が集まっている。



日高さんが「ギックリ腰の予防」についてアドバイス

交流会に先立ち、企画運営スタッフでNPO法人にしよどりネットワークの福田留美さんから「これまでの皆さんのアンケートを見ても『交流会』や『一緒に何かしたい』との意見が多く、これからもこの2本を柱に掲げていきたいと思えます」と、あいさつ。参加企業や事業所のことをもっと知りたいという期待が寄せられていることや、グループワークを取り入れ、さまざまなマッチングが自然に

生まれていく雰囲気づくりを後押ししたい想いを話した。これまでのマッチング事例として、入浴サービス株式会社ケアフル事業部・吉見浩一さんから、「世代間交流をめざす草花花木『芸夢』さんとの協働により、東成区の地域イベントで『おもちや遊び』を開き、子どもら200人が訪れ大好評だった」との報告があった。

「プレイヤーズタイム」と題

垣根を越えたつながりへ

次に、「企業と福祉のコラボレーション。あなたは何ができますか？何を期待しますか？」を議題に5テーブルでグループワークがスタート（Ⅱ写真下）。各テーブルで話し合われた内容が発

表された。なかには、「できる事と期待する事、実はつながっているのでは？」という意見や「災害時、私たちのできるお風呂を提供したい」という具体的な発言も聞かれた。

企画運営スタッフの一員である株式会社社マルモツト・多田修さんは、「この交流会が自宅や学校・職場ではなく、サードプレイス（第3の場）として自然と来たくするような心地よい

した30分間のプレゼンでは、株式会社アピロ乙西大阪訪問看護ステーションの理学療法士・日高憲司さんが登壇。そもそも理学療法士とは、どんな仕事なのか？理学療法士、柔道整復師、トレーナーの違いについても解説。後半は2グループに分かれて、理学療法の実技を交えながらわかりやすく説明し（Ⅱ写真上）、参加者は興味津々で聞き入った。

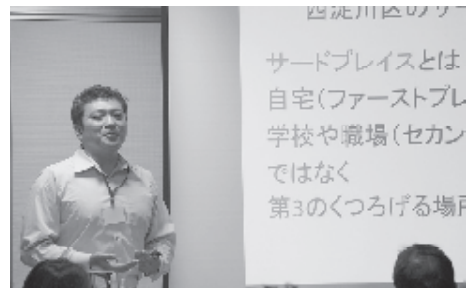
場所にした。単なる名刺交換ではなく、それぞれが



活発な意見交換がかわされたグループワーク

ことにより、その先のプラスアルファをめざしていきましょう」と、働きかけた（Ⅱ写真右）。

参加者からは、「さまざまな企業の方が参加され、多角的に話を聞くことができよかった」「こんなことができます」という多様なアピルが、まとめられていて分かりやすかった。「お互いを理解することで垣根を越えたつながりへと発展しそうな雰囲気があった」「まだまだ自分の知らない仕事があるのだと驚いた。知らない方とお話することで地域貢献の可能性が広がっていくのを感じた」といった声が寄せられた。参加者同士の結びつきを育み、さまざまなマッチングを生み出していくことを目的とし、今後は2か月に1回開催することとしている。



心地よい場所になりたいと語る多田さん